

# 金山町立金山中学校 第5号

## 学校だより

令和4年7月20日発行  
発行責任者:金山中学校長

### 2年生が体験学習で白河市・栃木県那須町に行ってきました！！

7月13日(水)・14日(木)、2年生4名は、体験学習のため白河市・栃木県那須町を訪問しました。実施の目的は宿泊活動や校外活動を通して、普段の学校生活では学ぶことができない公衆道徳や集団生活に必要なモラルや社会性を養うことと、本体験学習をSDGs教育の一環ととらえ、「多様性」や「共生社会」について学ぶ機会とすることです。さらには、英語の授業と連携し、プレゼンテーション学習の題材とすることによって、表現力向上の一助とすることも目的の一つです。学校を離れての活動ですが、生徒たちは事前準備の成果を発揮して自主的に行動し、また協力しながら集団行動をとることで、当初の目的を十分に果たすことができました。今後は学習したことをまとめ、英語でのアウトプットに向け準備を進めていきます。

なお今回の体験学習に掛かる、宿泊経費や各施設入館料、だるま絵付け体験料等の経費を金山町に助成していただきました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

#### 《行程表》

- 1日目(7/13) 学校・・・白河だるまランド(だるま絵付け体験)・・・自主研修(白河市内)  
・・・まほろん・・・白河の関・・・那須甲子青少年自然の家(宿泊)
- 2日目(7/14) 那須甲子青少年自然の家・・・那須どうぶつ王国・・・帰路



# スマートフォン・携帯ゲーム機等インターネットの利用状況調査

本校生徒 18 名に実施した、標記調査結果は下記のとおりです。情報通信技術は日々進化し、それに伴い新たな問題が生じています。幼少期からインターネットが身近にあることが当たり前である子ども世代とは異なり、親世代は苦手意識を持つ方が多いことも現状です。各家庭においてお子様が安心・安全にインターネットを使用できるよう、子どもの使用状況に関心を持ち、親子でインターネットとの付き合い方を真剣に考える機会を多く持つことが重要であると考えます。

<b>①自分専用の機器を持っている生徒</b> ・ない 2人 ・パソコン 1人 ・スマホ（携帯） 6人 ・タブレット端末 5人 ・ゲーム機 8人 ・音楽プレイヤー 3人	<b>②下記の機器でほぼ毎日利用する生徒</b> ・ない 1人 ・パソコン 1人 ・スマホ（携帯） 6人 ・タブレット端末 5人 ・ゲーム機 8人 ・音楽プレイヤー 0人	<b>③平日のネット接続使用時間</b> ・接続なし 2人 ・～ 30分 0人 ・～ 1時間 4人 ・～ 2時間 7人 ・～ 3時間 4人 ・～ 4時間 1人 ・～ 5時間 0人 ・5時間以上 0人	<b>④休日のネット接続使用時間</b> ・接続なし 2人 ・～ 30分 0人 ・～ 1時間 2人 ・～ 2時間 3人 ・～ 3時間 6人 ・～ 4時間 1人 ・～ 5時間 1人 ・5時間以上 4人
<b>⑤主なネット利用</b> ・利用なし 0人 ・動画視聴 18人 ・音楽視聴 13人 ・ゲーム 13人 ・SNS等 2人 ・情報検索 11人 ・勉強・学習等 9人 ・ニュース 4人 ・ショッピング 1人	<b>⑥メールや SNS でやりとりする相手の人数</b> ・いない 10人 ・～ 10人 6人 ・～ 30人 0人 ・～ 50人 2人 ・～ 100人 0人 ・～ 101人 0人	<b>⑦家庭内でのネット利用上のルール</b> ・ルールなし 4人 ・使用時間帯 10人 ・使用場所 3人 ・使用アプリ等 2人 ・課金や品物売買等 5人 ・個人情報掲載 3人 ・知らない人とのやりとり 3人 ・ルール違反罰則 3人	<b>⑧ネット利用が原因による遅刻または体調不良</b> ・ない 17人 ・週に1～2日 1人 ・週に3～4日 0人 ・毎日ある 0人

## SNS を介した犯罪被害の防止 ～SNS の実態を把握し解決策について考える～

Twitter、Facebook、LINE、Instagram ……。今、SNS の話題を耳にしない日はありません。SNS とはソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、インターネットを介して人間関係を構築できるスマホやパソコン用 Web サービスの総称です。自らの表現の場であったり、交友関係を広げていく場であったりと、多くのメリットをもっていますが、デメリットが存在することも事実です。SNS がもつプロフィールの作成、文章の公開、コメント付与、写真や動画の公開、グループ化、友人紹介などの機能が、誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったりしています。警察庁が発表した「令和 3 年の犯罪情勢」によると、SNS に起因する事犯の 18 歳未満の被害児童数は 1,811 人と高い水準で推移しており、サイバー空間を通じて他人と知り合うことなどを契機として犯罪被害に遭う事例もみられます。本校生徒の約半数がメールや SNS を利用しており、今後ネットトラブルや事件に巻き込まれないか危惧されます。

では、SNS を介した犯罪被害を防止するにはどうしたらよいのでしょうか。当然、SNS を管理する事業者側の対応もありますが、まず、子どもに直接関わる私たちが「賢く安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使える心」を子どもたちに育むことが大切です。そのためには、次の 4 つの取り組みを、私たち大人は心掛けたいものです。

- ① SNS を知ろう 自ら操作したり、基礎知識を得たりしよう
- ② SNS の正しい利用を、自らの態度で示そう
- ③ 子どもとじっくり話し合いながら、活用させよう
- ④ SNS の具体的なトラブルから学ぼう

個人への脅迫行為、性犯罪被害、待ち伏せや付きまとい等、ネットトラブルの実態から、学校、家庭、地域で、子どもと一緒に解決策を考えましょう。